

ある国立 歩記

KUNITACHI・ARUKI



vol. 32

2015年 秋号

TAKE
FREE

特集：国立ゆかりの
アーティスト その6

ニャン太のくにたち 南へ北へ
くにたち新聞

秋のごちそう！ワインで乾杯ツアー

秋の恵を
くにたち。



(籠の中) 遠藤利光さんの葡萄、佐藤英明さんの梨と林檎、佐藤ハツさんの栗、佐伯彰さんのすだち他。 — 国立市北「たとばに」にて

kunitachiaruki present

プレゼント有効期限：15年12月末日迄

500円分のお買い物券
焼き菓子や ひとつとて (P4)
3名様

500円分のディナーお食事券
pizzetto (P5)
5名様

お好きなお惣菜(100g)
※日によってメニューは異なります
小春日和 (P6) 10名様

グラスワイン1杯サービス
※ディナーをご注文いただいた方に限ります
Chez Navet (P5) 10名様

豚のモロッコ風プロシエト
ワインバル うららかにたち (P6) 3名様

「旧高田邸と国立大学町
～85年の物語～」公式図録
国立歩記編集部 (P7)
5名様

伝助さんクイズ! 柔らかな声とギターが魅力の「絵本の時間」。大人には癒やしの時間になりそうですね。ではここで問題。帽子とつなぎがよく似合う、双子の野ねずみの活躍を描いた絵本といえば?
1.ヘンゼルとグレーテル 2.ぐりとぐら 3.トム&ジェリー

抽選で5名様に「ボージョレ・ヴィラージュ・ヌーヴォー くにたち2015」をプレゼント! 皆様のご応募を心よりお待ちしております。

[プレゼント応募要項] はがきに、①ご希望のプレゼント名1つと応募の理由(伝助さんQUIZはその答え)②住所・氏名・電話番号・職業・年代を明記のうえ、③面白かった記事、本誌へのご意見・ご感想をお書きになって、下記までお送りください。**[宛先]** 〒190-0011東京都立川市高松町3-14-13 (株)ビックス気付国立歩記編集部「プレゼント」係 **[締切日]** 2015年11月15日(日) 当日消印有効 ※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

おかげさまで12周年! せきやビルFLOOR GUIDE

FLOOR	NAME	TEL	OPEN/CLOSE
7F	多目的ホール せきやホール	042-576-7728	受付 13:00-19:00 (利用 月-日 9:00-21:00)
	宮地楽器音楽教室 国立センター	042-505-5656	月-土 10:00-21:00 / 日 10:00-16:00 (祝休)
6F	オープンスクール NHK 学園	042-574-0570	月-金 9:30-19:00 土日 9:30-15:00 (祝休)
5F	SDフィットネス国立店	042-580-4538	月-水 10:00-23:00 / 土 10:00-21:00 日祝 10:00-20:00 (木休)
4F	宮崎県日南市 塚田農場 国立店	042-580-4502	11:30-14:30 (土日祝休) / 17:00-23:00 (月-木日)・17:00-24:00 (金土祝前)
	隠れ菴 忍家 国立店	042-574-5288	17:00-25:00(金土祝前 27:00/ 年中無休)
	エステサロン さくら 国立店	042-572-3000	火-金 10:00-20:00 土日祝 10:00-18:00 (月休)
	ジャック幼児教育研究所 国立教室	042-573-6880	9:30-18:30
3,2,1F	SEIYU 国立店	042-576-2401	24H 営業 (年中無休)
B1F	SAKE-BOUTIQUE SEKIYA	042-571-0001	[1F] 11:00-22:00 (金土 23:00/ 年中無休) [B1F] 11:00-20:00 (金土 21:00/ 年中無休)
	ドイッ 通 フォムファス	042-572-4741	11:00-19:00 (水休)
	30農家のくにたち村酒場	042-505-6736	月-土 17:30-23:00 日祝 17:30-22:00 (第一火休)

第二せきやビル

タリーズコーヒー 国立店	042-501-0336	月-土 8:00-22:00 日祝 8:00-20:00 (定休日なし)
--------------	--------------	-----------------------------------------

お知らせ **せきや秋の試飲会** 2015年10月24日(土) 第一部 12:00 / 第二部 15:00 [各部前売券 2,700円(税込)] ※詳しくはお問い合わせください

国立歩記 Vol.32 2015秋号 2015年10月15日発行 (季刊4回・無料)
企画・制作 国立歩記編集部 Editor & Writer 田中えり子
Logo Design 関 敏(石の彫刻家) 稲垣大地/興ビックス

印刷 せきみえ 長谷川雅典 山根かずき 遠田覚
design 国立圖案室 + 坂東真奈 + 有田夏希
photo 小林未央(表紙)

印刷・発行
株式会社ビックス
〒190-0011
立川市高松町3-14-13

TAKE
FREE

くにの安心安全ABC



I want to ride my bicycle.

自転車乗るなら 携帯電話はNo!

ウェブからのプレゼント
応募はこちら



kunitachiaruki.jp

パソコン・スマートフォンなら上 URL
を、携帯電話なら QR コードをどうぞ(一
部の携帯は未対応)。QR コードはデ
ンソーウェアの登録商標です。

[編集後記] みなさんは自分の母校の校長先生を覚えていますか? 僕は恥ずかしながら覚えていません。そもそも校長ってどんな仕事をしているんだろう? 高校生の頃は想像もつきませんでした。今回お話を伺った五商の佐藤校長のように、僕ら生徒のことを考えてくれていた大人がいたんだろうか。だとしたら気付かぬうちに随分支えてもらっていたんだなあ、今になって感謝の気持ちが湧いてきました。校長先生、ありがとう! (「くにたち南へ北へ」担当 Y)





心地よい呼吸で書く「書」

書家 ^{みちこ} 宙子さん

【宙子（みちこ）さん】
書家／書道歴30年。国立市在住。祖父と母の影響で幼少期から書が身近だった。近年はフランスなど海外での書展も計画中。※「こども書展」は10/17（土）～18（日）午後、room 103（国立市北2-13-48）にて開催。
【連絡先】 Mail: info@michiko-sho.com
☎080-5074-4878 / http://michiko-sho.com



[1] 8月に開催したKFまちかど教室「あれん字」。「まずは心を遊ばせて」と宙子さん。[2] 硯は祖父から譲り受けたもの。[3] 宙子さんならではの書のアート。「男女」。(プロフィール写真と②撮影：MIWAKATOH)

書道ではなく「書」。宙子さんはこの街で、ちょっとユニークな教室や書展を行っている書家。第一に心の状態を大切に、一般的な書道教室のように字形だけでない事が特徴のひとつだ。書道歴が長くなるとともに、「直感のまま書く文字こそ、線に本来の魂が宿る」ことに気づきはじめ、書道はこうあるべきという呪縛から解放される。「リラクセスの状態、そして心地良い呼吸で」。ずっと無意識で、大事にしてきたものが鮮明になったという。子どもたちを指導するときも、その子の感性を引き出して育てることを心がけ、「生きていて楽しいと思えるような、自分の素直な心の内が投影されるような、そんな書になったら」と、国立では、この秋も「こども書展」(*)を開催する。

宙子さん自身の書展も、ただ作品を飾るだけでなく、書いた書の物語を語るライブ的な場にも。刺激的な書によるアート活動、これからの展開が楽しみだ。

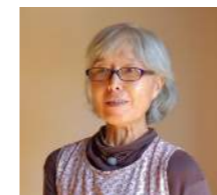
国立ゆかりのアーティスト その6

積み重ねた技術と
自由気ままに 好奇心
彼らに 出会うと
眠っていたココロが 動き出すよ。



自然素材を気ままに編む

かご編み作家 長谷川美和子さん



【長谷川美和子さん】
東京農工大学科学博物館つかごサークル卒業。2009年より木のヒゲとして活動。立川市在住。現在、国立市北の「たとばに」2階をアトリエ兼ショールームとして活動中。



素材から湧いてくる形をイメージしながら自由に編んでいく。

国立から、スイングで行こう！

サクソプレーヤー 向井志門さん

【向井志門さん】国立市出身。中央大学在学中よりプロ活動を開始。現在はビッグバンドThe Swingin' Devilsや小編成バンドThe Honkerzを主宰する傍ら、オーサカ=モノレル、ORQUESTA DEL SOLのメンバーとして活動。「音楽は食べることと同じくらい大切。人間が生きていくには、絶対に必要」http://swingindevils.com/ [ライブ情報] 国立市消費生活展：11月15日（日）市民芸術小ホール、向井志門& Swingin' Devils Jr. バンドが演奏



葉や枝、蔓（つる）など、何気ない自然の産物でも、この人の手にかかれば、個性豊かなかごに仕上がる。長谷川美和子さんは、身の回りの自然素材を使ったひと味違ったかご作りを続けている。設計図はほとんどない。持ち手の形も素材の趣くまま。枝のねじれに呼応するようにオオツヅラフジやくず、くるみ、山ぶどうなどの枝や木の皮を自由に編んでゆく。染色もほとんどしないため、その自然の風合いは時間とともにさらに味わいが増す。形も色も、まさにこの世に1つしかない作品たちだ。



左)初作品の花立て(アカメガシワ)。右)ヤナギの皮の細かな目が美しい手提かご。

4人編成のホンカースの他、ビッグバンドでの演奏も国立で開催。

「イン・ザ・ムード」や「A列車で行こう」、「ムーンライト・セレナーデ」といえば、思わず体を揺らしたくなるような1930年代～50年代のスイングジャズの名曲。その魅力を生まれ育った国立から伝えたいと、プロサクソプレーヤーの向井志門さんがサクソ四重奏バンド「The Honkerz（ホンカーズ）」を結成し活動中だ。「どこか権威主義な音楽やジャズをもっと身近なものに変えたい」と2011年、まさに飛び込んだ。以来、カフェや保育園、福祉施設、ホールなど、市内の子どもからお年寄りまで、軽快なスイングを届ける。サクソスのみの編成にした理由は、人間のコーラスの音色に近く、狭い場所でも心地よいから。活動を続けるうちに無償でライブをサポートしてくれる人や、演奏場所を紹介してくれる人が現れるようになった。「コンパクトな国立だからこそ、一緒に楽しめる」。生の音楽をとおしてつながるヒトとコト。国立から全国へ、さらには世界へ。音楽がたなぐ輪を広げていく。



シュロの葉1枚で作ったかご。ワークショップの題材にすることが多く、初心者でも半日で編めるという。

東京農工大学科学博物館つかごサークルで5年間学び、現在ワークショップなどで教える長谷川さん。近所の庭先に廃材の枝などがあれば、家主に声を掛けて分けてもらうこともしばしば。「捨てないで」って、声が聞こえてきて。そんなナチュラルな感性が詰まった作品からは、素材たちの笑顔と温もりが伝わってくる。



【たとばに】国立市北2-6-2 ☎042-574-2169
<自然素材を編むワークショップ開催中>
[Date] 11月20・21日 クリスマス企画「自然素材のリース」
12月18・19日「いかだ編み」11:00～16:00 [定員] 3～4名
[Price] 3,500円～ / 材料費込



校長先生が街に飛び出す！
地域とつながる商業高校が
国立にあるんだニヤ

vol. 6



東京都立第五商業高等学校

1941年創立。多摩地区では、全日制と定時制を併置する唯一の商業高校。先生や生徒は「五商」と呼ぶ。男女共学。

佐藤俊一 校長

校長に就任し3年目。インターンを一年生全員参加にするなど地域と連携した取り組みを進める。「家族からは『お父さんはいつも五商のことばかり考えてる』と言われます(笑)」



「いらつしゃーい！こちらに並んでお待ちくださいニヤー！」
ニヤン太がオープンさせたカフェが、なんと大繁盛です。
「すみません、第五商業高校校長の佐藤と申します」
そこへ突然、珍しいお客様が来店されるのです。

佐藤校長「あなたが店長のニヤン太さんですか？」
「いらつしゃーい！僕がニヤン太だよ。」
佐「お店をこんなに繁盛させて素晴らしい。ぜひわが校の生徒たちに授業をしてくれませんか？」
「ええ！僕が先生に！」
佐「はい。わが校では生徒たちが経済や経営の基礎を学んでいます。簿記や情報処理の資格の取得はもちろんです、より専門性を高めるための授業では大学教授や地元の商店会会長さ

んを教壇にお招きしているんですよ」ということは、僕のビジネスセンスが社会に認められたわけだ。
ぜひ協力させていたたくニヤ！
佐「ありがとうございます。五商はこのように地域の方に力をお借りすることが多いんです。富士見台商店街に場所をお借りして開く『五商ショップ』もそのひとつ。これは三年生の授業で行う販売実習で、店舗経営を学びます」
「へー！三年生ともなると実践的だ。

佐「実践的な活動は二年生から始まっているんですよ。まずは企業へのインターンシップ。実際の職場を目的にたりにした生徒たちは仕事の大変さややりがいを実感しています。またその経験を、親のありがたさがわかった」と後輩に伝える生徒もいました。また二年生が選択授業で取り組む商店街のポスターコンクール、今年はさらに注力しようと思気込んでいます」
「生徒が目指すのは商業のプロなの？」
佐「私は生徒に、総合的に力をつけてもらうことを目指しています。基礎は座学ですが、それに偏らず実践や経験を大切に。そして音楽や書道などの芸術、学校行事や部活動もがんばってもらいたいですね」
「校長先生の仕事って知らなかったけど、いろいろ考えてるんだ！」
佐「はい。どうしたらこの学校がもっと良くなるか、アイデアを探して絶えずアンテナを張っています」
「僕のお店もそのアンテナに引っかかったわけだね。そうそう、僕はどんな授業をすればいい？」
佐「はい、テーマは、人気店の秘密はしゃべるまねき猫」でお願いします」
「ガン！僕はまねき猫じゃないよー！でも身近にがんばる高校生がいるのなら、協力してあげたいニヤ。」

去る9月9日、一橋大学の松井剛教授とKFの学生による授業が開講。テーマは「コンビニからビジネスを学ぶ」。生徒が身近に感じるテーマを選択して企画された。

生徒自らが仕入れから販売まで行う「五商ショップ」は、地元のお客さんと賑わう。お客さんとのふれあいも大きな学びになっているという。



部活動も盛ん。写真は使用済み切手を整理するボランティア部。同部の活動は市内の地域貢献に留まらず、東日本震災の東北被災地や常総市へ支援活動に行ったことも。

ご縁でつながる
くにたち結び 《其の七》

まいちゃんの絵本の時間

ページをめくりながら、やわらかな声でその場を包み込む。お話の展開にあわせて、絶妙なタイミングでかぶさるギターの音色……。子どもたちは思わず身を乗り出して、絵本の世界にすっかりはまっています。
「焼き菓子や ひとひとつ」で、数組の親子を前に始まった「まいちゃんの絵本の時間」。福成舞さんと福成優さんのカップルが作り出す、月に一度のステージだ。
1年ちよつと前「うちで絵本の読み聞かせをやってみない？」と舞さんに声をかけたのが、小野木美里さん。画家をめざしていた夫の淳さんと、けやき台団地のはずれに住居兼店舗「ひとひとつ」をオープンして間もない頃だった。最近では、淳さんが宣伝のフライヤーを描き、読み聞かせの最後には、美里さんがつくる「絵本にまつわる焼き菓子」がおやつに登場、というスタイルが定着してきた。



3. この日の絵本にまつわるお菓子。イチジク、ブルーベリーののったかぼちゃプリンに「ぐりとぐら」の海水浴クッキーがついている。
4. 舞さんが集めてきた石ころで「何か作ってみよう」の時間。自分自身が遊び方を知らない保護者も増えているので、さげない提案になっている。手遊びもいれながらの1時間半は、あっという間に過ぎる。

ふだんは国立富士見台団地の幼児教室風の子で、保育士として働いている舞さんだから、読み聞かせはお手のもの。「でもここには日常の仕事場とはまた違った広がりがある、たくさんの親子にも出会える。すぐくありがたいんです」
いつもはテイクアウト用の焼き菓子をつくる美里さんにとっても、「絵本のときは特別なものをつくれるので」と毎回創作を楽しみにしている。回を重ねるたびにそれぞれにアイデアが生まれ、他からのお誘いや新しい顧客も増えてきた。淳さんが言う。
「じつは、最初はこの店をやるのもあまり乗り気じゃなかったんです。でも人と人がつながって摩擦をおこしていくからこで、コトが前に進んでいく。今ではそれがほんとに面白いです」



1. 淳さんが描いた舞さんと優さんのキャラを、手刺繍作家のスプリングママさんがバッジにしてプレゼントしてくれたもの。
2. 絵本は1回3冊。優さんは、地域に根強いファンをもつ山根かずきバンド(本誌25号参照)のベースとして活動中のミュージシャン。ギターが前に出すぎないように、事前に二人でなんどもリハをすとか。



DATA

「まいちゃんの絵本の時間」の予定はWEB検索にて。FBにページあり。https://www.facebook.com/maichanehon?pnref=story

焼き菓子や ひとひとつ
立川市若葉町 1-17-1
☎ 042-507-7352
[OPEN]
金・土・日・月
11:00 ~ 16:00

プレゼントの応募方法については裏表紙をご覧ください。



5. 左から小野木淳さん、美里さん、福成舞さん、優さん。もとは舞さんと美里さんが国立市の「カフェトビナンプル」で知り合った。「ひとひとつ」は、かつてお寿司屋さんだった店舗を自分たちで改装。月イチのカレー屋さんや、金曜には無農薬野菜の販売も。 6. 卵、牛乳をつかわない焼き菓子。旬の果物をふんだんに。

5 小春日和

野菜ソムリエである店主の小林香代子さんが丹念に作るお惣菜とサラダは、安心・安全をモットーに全て添加物なし。季節を感じられるパリエーション豊富なメニューと趣向を凝らした味わいにファン急増中です。栄養バランスを考えて食卓に一品添えるのも◎。これからの季節、ワインのおつまみやホームパーティにも最適!



国立市中 1-8-22 オーヴァ1F [TEL]042-843-0781
[OPEN] 11:00~19:00 [定休日] 土・日

3 ワインバル うららかにたち

「秋はコクのある赤を飲まれる方も多いですね。そうした味わいは、スパイシーなお肉や濃厚なチーズとよく合いますよ」とはオーナーの上田さん。この10月に5周年を迎えた北口のバルは、小皿料理とお酒を肩肘張らずに楽しめる雰囲気の魅力。マリナーズ(組み合わせ)も教えてくれるので、ワイン初心者も気軽に立ち寄りやすい。



国分寺市光町1-39-19 [TEL]042-573-8503
[OPEN] 月・水・金 17:30~24:00 (L.O. 23:30) / 日 12:00~22:00 (L.O. 21:30) [定休日] 木

1 シェ・ナビ Chez Navet

富士見台の人気フレンチは今年で3年目。ランチやお持ち帰りのバゲットサンドも好評だが、この秋は牛テールのポトフがオススメだ。渡辺シェフによると、牛の旨みが染み込んだ塩味が白ワインと抜群の相性を見せるという。白さながらの味わいを持つポージュレともよく合いそうな一品、ディナーでその味わいをゆっくり楽しんでみては。



国立市富士見台3-4-1 [TEL]042-573-5502
[OPEN] 11:30~14:00 (L.O. 13:30) / 18:00~22:00 [定休日] 月



illust ひらまつみわ

ワインで乾杯 ツアー

秋のごちそう!

KUNITACHI TRAVEL



上:お惣菜、サラダは100g 380円~
オードブルやお弁当は予算に応じて予約もOK!
下:マッシュルームのファルシー 3ヶ/450円



小皿で気分も
うららかに。
気軽に楽しむ
マリナーズ

左:豚のモロッコ風プロシット700円
右:ゴルゴンゾーラのクリームペンネ1,200円



牛テールの
ポトフと白ワイン。
秋の夜長を
フレンチで過ごす

左:牛テールのポトフ。
アラカルト 2,300円/コース 5,000円
右:バゲットサンド 700円~※前日16時までに要予約。
価格は具材によって異なります

お持ち帰りのバゲット
サンドも人気です!



てんさい糖の
やさしい甘さ。
カラダが喜ぶ
上質スイーツ

左:白ワインと一緒に口どけを楽しんで!
レアチーズケーキ「ネージュ」420円
右:ポージュレのお供に。和栗のモンブラン500円

ハリネズミサブレ、
焼き菓子ギフトも人
気のため、お早め!



薪窯に薫る
ポルチーニ茸。
ナポリの秋を
赤ワインで

左:ポルチネッタ 2,060円
右:ポルチェプレート 1,200円~

特別な日にはデザート
の盛り合わせ「ドルチェ
プレート」もオススメです!

À votre santé!
『くにたちポージュレ』
11月19日(木) 解禁!

秋といえば新酒を楽しみにしている方も多いのでは? 「Chez Navet」や「うららかにたち」などの市内各店でも飲むことができる、『ポージュレ・ヴィン・ラージュ・ヌーヴォー くにたち 2015』もまもなく解禁だニャ! 詳しくはP10へ!



フリフリ

4 アルブル菓子店

店主でパティシエの沓澤良祐さんと奥様の麻友さんがここを開店して1年半。店内のケーキ全てを一人で製造しているため数はそれほど多くはないけれど、てんさい糖など厳選素材で作られた無添加のケーキはどれも純粋な美味しさが詰まった自信作。カラダに優しい甘さが、コーヒーや紅茶だけでなくワインとも相性抜群。



国立市富士見台1-1-12 [TEL]042-511-7736
[OPEN] 11:30~18:00 [定休日] 月・火 (売り切れ次第閉店の場合有り)

2 ピッツェット pizzetto

ナポリ伝統の薪窯から漂う品の良い香り。「薫りの女王」とも呼ばれる、旬のポルチーニ茸を使った1枚だ。「口当たりの軽い赤とよく合います。特にキノコと同じピエモンテ産のワインを選べば間違いありません」とは曾我シェフ。ピッツァといえどビールを頼んでしまいがちだが、赤ワインを添えればいつもと違う味わいが楽しめそう。



国立市中1-10-30 石川ビル1F [TEL]042-576-3224
[OPEN] 11:30~14:30 (L.O. 14:00) / 17:30~22:30 (L.O. 21:30) [定休日] 水



もう一杯

旬の果物、
野菜がいっぱい!

第38回国立市農業展 国立市農業まつり

2015年11月14日(土) 10:00～
15日(日) 9:00～
@国立市役所市民ロビー・駐車場<参加無料>

野菜果物の直売&品評会に、パンジー、葉ボタンなどの無料配布…。今回は野菜の市民審査あり、参加者には宝船の野菜をプレゼント! ご家族おそろいで、おでかけください。

14日(土)
けんちん汁・谷保米おにぎりのふるまい 12:00～
植木無料配布(シャクナゲ、オリーブなど) 14:00～

15日(日)
谷保米もちつき大会 12:00～
藁による輪かざり、縄とび体験教室、大根引っこ
抜きイベント(数量限定) 10:00～14:30

【問い合わせ】国立市役所 農業振興係
☎042(576)2111(内線346・347)
主催:国立市農業展実行委員会
共催:国立市 国立市農業委員会 東京みどり農業協同組合



くにたちマルシェ 2015
@谷保第四公園 くにたち産の農産物を使った
おいしい飲食マーケット。(マイバッグをお持ちください)

第25回国立市消費生活展
@くにたち市民芸術小ホール&前庭
包丁研ぎ、傘やオモチャの修理、ガレージセールなど
芸小ホールステージ>
向井志門とSwingin' Devils Jr. Band コンサート ほか

くにたち野菜フェア 2015
11月1日(日)～11月15日(日) 市内42店舗(予定)
でくにたち野菜をつかったメニューを提供。詳細は
Facebook「くにたち野菜月間」で検索

同時開催 15日(日) 10時～15時

“わが街国立”を再発見する! 第2回くにたち写真コンテスト受賞作決定!



今年の第2回写真コンテストには、市内外の写真愛好家から163点の作品が寄せられ、審査員(写真家の小林定之さんと西田洋一さん、女優の石井めぐみさん、主催者理事)により、入賞11作品、佳作10作品が選定されました。入賞のなかには国立歩記賞も3点。ウェブサイトに「くにたちインデックス」で一覧されるほか市内各所で展示予定です。

今年第2回写真コンテストには、市内外の写真愛好家から163点の作品が寄せられ、審査員(写真家の小林定之さんと西田洋一さん、女優の石井めぐみさん、主催者理事)により、入賞11作品、佳作10作品が選定されました。入賞のなかには国立歩記賞も3点。ウェブサイトに「くにたちインデックス」で一覧されるほか市内各所で展示予定です。

今年第2回写真コンテストには、市内外の写真愛好家から163点の作品が寄せられ、審査員(写真家の小林定之さんと西田洋一さん、女優の石井めぐみさん、主催者理事)により、入賞11作品、佳作10作品が選定されました。入賞のなかには国立歩記賞も3点。ウェブサイトに「くにたちインデックス」で一覧されるほか市内各所で展示予定です。

今年第2回写真コンテストには、市内外の写真愛好家から163点の作品が寄せられ、審査員(写真家の小林定之さんと西田洋一さん、女優の石井めぐみさん、主催者理事)により、入賞11作品、佳作10作品が選定されました。入賞のなかには国立歩記賞も3点。ウェブサイトに「くにたちインデックス」で一覧されるほか市内各所で展示予定です。

高齢者とその家族はとくに注意! 秋の火災予防運動 11/9～15

火災発生時に、ただちに駆けつけてくれる消防車。しかし火災の発見の遅れにより、被害が拡大してしまう恐れもあります。とくに高齢者は火災への気づきや避難が遅れることもあるので、家族や地域との連携がとて大切。火災の発生をいち早く感知し、警報音で知らせる住宅用火災警報器の設置が義務化されたのは平成22年。あなたの家にはついてますか?
(東京消防庁管内での設置率約78%)



上記は東京消防庁管内での高齢者が死亡した住宅出火原因ワースト3。
[平成21年から5年間の統計]
取材協力:立川消防署



くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート

ハンデル メサイア HANDEL / MESSIAH

～ピリオド楽器使用/ピリオド唱法による～

わが国を代表するチェンバロ・フォルテピアノ奏者兼指揮者の渡邊順生は、一橋大学卒業後、アムステルダム音楽院を首席で卒業、以後、内外で古楽演奏の普及と啓蒙に精力的に活躍中。2010年度サントリー音楽賞を受賞。長年の盟友で世界的名テノール、ジョン・エルウィスはじめ古楽界の一流音楽家たちが兼松講堂に集います。

2015年11月15日(日) 午後2時30分開演(開場1時30分)
一橋大学兼松講堂(JR国立駅南口徒歩7分)



【出演】 共同音楽監督 ジョン・エルウィス、渡邊順生
指揮とチェンバロ 渡邊順生
独唱 ジョン・エルウィス、鈴木美登里、櫻田亮 ほか
合唱 モンテヴェルディ・アンサンブル
管弦楽 ザ・パロックバンド

【前売券】(当日は各500円増し)
S席 5,000円(指定・親子セット限定20席あり)
保護者同伴の小中高生は学生券で指定席可
A席 4,000円(自由席) 学生券 2,000円(自由席)
★親子セット券のお申込み、また車いすでのご来場は、あらかじめ直接主催者までご連絡ください。☎090-8495-4582
★未就学児童のご入場、お車でのご来場はご遠慮下さい。

【チケット販売】
一橋大学西生協/白十字南口店/
くにたち市民芸術小ホールほか
東京文化会館チケットサービス(電話申し込み可) ☎03-5685-0650

【問合せ・電話予約】
コンセルブルミエ ☎042-662-6203
(月～金 10:00～18:00)
【主催】
ボランティア・チーム如水コンサート企画

※詳細は公式ホームページ「如水コンサート企画」で検索(お申込みもできます)



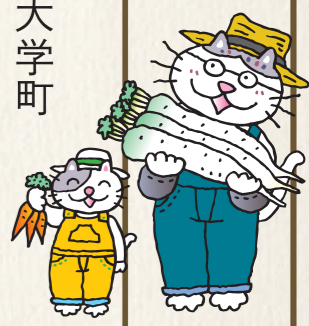
東京都国立市中二丁目にあった昭和4年築の「旧高田邸」は、昭和初期の国立大学町の様子を今に伝えるたいへん希少な文化住宅でした。2015年5月の解体前に開催された「旧高田邸さよならイベント」では多くの方々の関心を集め10日間で三千人以上のお客様を迎え盛大にその85年の歴史に幕を閉じました。

家主の文人医師、高田義二郎は、国立では校医として一橋大学と滝乃川学園に勤めましたが、むしろ文筆家として世間では知られた文化人でした。この本は失われた高田邸の記録と、国立ではこれまで語られることが無かった高田義二郎の魅力を紹介するものです。

「旧高田邸と国立大学町」
85年の物語
公式図録が完成しました!



現在「国立本店」「増田書店」にて発売中!
出版社:国立本店 定価:1,200円(税込)
お取り扱いいただけるお店を募集しています。
お問い合わせ:国立本店 <http://kunitachihonten.info/>
プレゼントの応募方法については裏表紙をご覧ください。





くにたちに新酒の季節がやってくる!

ボージョレ・ヴィラージュ・ヌーヴォーくにたち2015

くにたちボージョレ、3つの「わ」輪をつくる。話がはずむ。和やかに。

輪 テーブルに家族の“輪”をつくる1本。
11月19日(木)、販売解禁!
ご予約特別価格2,580円(税込) 参考価格3,900円(税込)
限定1200本・ご予約期限11月15日(日)まで

話 みんなで祝えば“話”もはずむ。
ヌーヴォーを美味しく楽しむ会
11月19日(木) 18:00~22:00
[会場] せきやビル B1F・噴水広場&くにたち村酒場
[参加費] 2,000円(税込)
※ヌーヴォー飲み放題+料理1皿/限定60名様

和 季節の料理を囲んで“和”やかに。
お気に入りのお店で楽しむ。
今号掲載の「Chez Navet」「うららかにたち」、また「くにたち村酒場」などでも飲むことができます。詳しくはせきや公式facebook「Sake-Boutique Sekiya」へ!

今回のラベルはブドウを手にした少女の銅板人形がモチーフ。国立ゆかりの銅版造形作家・赤川ボンズさんが収穫の喜びを表現した作品で、かぼちゃや大麦を抱えた少年たちと一緒に国立市東の三小通りバス停前から、くにたちの街と人々の暮らしを毎日優しく見守っています。

生産者は前年に引き続き、名門デュボン・ファミリーのドメーヌ・ド・ボワシヤン。丁寧な仕事から生まれる味わいは今年も期待できそうです。収穫の恵に感謝しつつ、豊穣の秋に乾杯しましょう!

[銅版造形作家 赤川ボンズ] 1970年代より国立や立川といった多摩地区を拠点に活動する作家。300体を数える作品が日本全国に設置されており、街行く人々の目を楽しませてくれます。

C'est là Vie SAKE-BOUTIQUE SEKIYA Depuis 1910 おかひまで105周年

国立市中1-9-30 せきやビル B1/F
☎ 042-571-0001
[1F] 11:00-22:00 (金土23:00)
[B1F] 11:00-20:00 (金土21:00)

SEKIYA TOKYO・PARIS

グラスを片手に チーズめぐり vol.7

ワインと旅するチーズ王国

チーズ王国 × SEKIYA

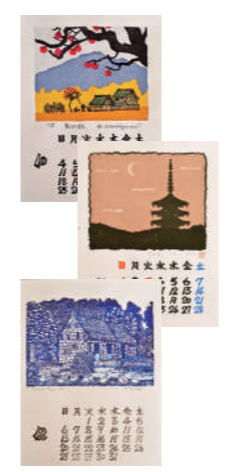
とろとろ・ほっくり、味くらべ 新酒で楽しむ2つのチーズ

せっかくのボージョレだから様々なチーズを試したい。熟成した「サンフェリシアン」はとびきりマイルキー。ハードの代表「コンテ」はコクと香りを堪能して。それぞれのマリアージュをお楽しみあれ。

[左] サンフェリシアン 1P (約180g) /1,880円 (税込)
[右] コンテエクストラ AOC 15-18M 1カット (約200g) /1,900円 (税込)

チーズお問合せ先 チーズ専門店&カフェ サロン・ド・テ・チーズ王国 立川市栄町4丁目16-1 [OPEN] 10:00~19:00 (火休) ☎042-513-4101

※入荷数に限りがあるため、事前予約をお勧めします



人気の木版画、水曜クラス新設! やさしい木版画

この10月より、満員が続いていた木版画の基礎講座に水曜クラスが新設されることになりました。「彫る・刷るという作業の面白さ、そして出上がった作品をたくさんの人にプレゼントできるという点も版画の魅力だと思います」とは木下先生。一人ひとりのレベルや目的に応じて指導してくれるので、絵に自信が無い方でも大丈夫。また生徒全員でつくるとの楽しみもひとつつです。

[秋の新講座] 奏でる喜びを感じる。

- リコーダー(縦笛)を吹こう! 6ヶ月全11回 34,100円(分割2回払可)
- ジャズ&ポピュラーヴォーカルを楽しむ 6ヶ月全11回 31,900円(分割2回払可)

※詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。

NHK 学園
くにたちオープンスクール
せきやビル 6F ☎042-574-0570
[受付時間] 月-金 9:30~19:00 土日 9:30~15:00 (祝日休)



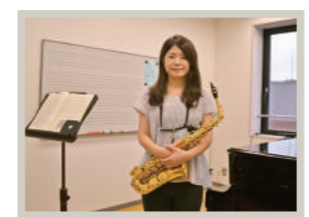
木下泰嘉(たいか)先生。木版とエッジングの技工を組み合わせた作風により、国内外で高い評価を受けています。水曜クラスは6ヶ月全11回 24,750円

芸は秋 術じから 慣る

この秋、美術や音楽を習慣にしませんか? せきやビルではさまざまな講座が開講中。教室に一歩足を踏み入れれば、アトナな毎日が始まります!

日曜日は憧れの管楽器を吹こう。 サックス(個人レッスン)

今年6月から始まった3種類の日曜レッスン。その内のひとつが三浦先生によるサックスコースです。「憧れる方が多い反面、難しいと思われるが、年齢・性別を問わず、誰でも楽しめるんですよ」。生徒の吉田さん(写真)も、吹奏楽部のお孫さんに影響されて最近始めたばかりだとか。あなたもこの機会に憧れを実現してみよう。



三浦加奈子先生。講師を務める傍ら、精力的にライブ活動も行っています。「お好きなジャンルの曲でレッスンします。初心者の方はもちろん、経験者のレベルアップもお任せください!」

宮地楽器音楽教室 国立センター
せきやビル 7F ☎042-505-5656
[受付時間] 月-土 10:00~21:00 日 10:00~16:00 (祝日休)

[日曜レッスン] お休みの日は音楽を。

※すべて月2回の個人レッスンです。詳しくは下記連絡先までお問い合わせください

- 日曜レッスン・ラインナップ
- ヴァイオリン(右上) 月謝10,800円~
 - サックス(右中) 月謝12,420円~
 - ヴォーカル(右下) 月謝11,880円~

